



4月から、平尾診療所に新しい歯科医師が着任しましたので、ご紹介します。

歯周病の治療を重視 住民のニーズに応えたい

平尾診療所に新歯科医師が着任



平尾診療所歯科医師

くすもと たかのぶ
楠元 孝宣

Interview

Q 年齢は？

A 34歳です。

Q 家族構成は？

A 妻と2人で、妻も同業者です。

Q 前任地は？

A 鹿児島大学病院歯科の口腔外科です。

Q 長島の印象は？

A 人がやさしく、空気がおいしくて、星空がきれいですね。海の幸、山の幸も豊富です。私は出水市出身ですが、根をはって住んでみると改めて長島の良さが分かりました。

Q 趣味は？

A つくろうとは思っていて、せっかく長島に来たのだから釣りをはじめたいです。弱点は、船酔いと泳げないことです。

Q 最後に着任の抱負を教えてください。

A まず、基本的なことを大切にしていきます。歯周病の治療を重視していくことが夢。住民の方々のニーズに応えていきたいです。

3つの危険

後部座席のあなたがシートベルトを着用していなかったら・・・交通事故に遭ったとき、あなたに襲いかかる



「自分だけは大丈夫」「事故に遭っても、大きなケガはしない」などと思っているアナタ？それは大きな間違いです！

改正道路交通法により、後部座席のシートベルト着用が義務化されます（平成20年6月1日施行）。運転席、助手席はもちろん後部座席もシートベルト（6歳未満はチャイルドシート）を正しく着用しましょう。

交通事故時の危険



① 自分自身が大きな被害

事故の衝撃により、想像以上の力で前席シート、天井、ドア等に叩きつけられ、自ら大きな被害を受けます。

② 車外放出の危険

場合によっては、衝突の衝撃により車のガラスを突き破り、車外に放出される可能性があります。車外に放出されると、アスファルトに身体を強打したり、後続車両にひかれたりする危険性もあります。

③ 前席同乗者への加害

衝突の衝撃で後部座席の乗員が前方に飛び出すことにより、前席乗員をシートとエアバックの間で押しつぶし、圧迫死させる危険性があります。前席乗員の頭部の重傷率も格段に高くなります。